

【令和元年度実施分】アンケート調査設問内容一覧

資料4-2

分類	設問内容	①	②	③
		身体・知的・難病	精神	障害児
身体障害者	3,000人 (18歳～64歳:2,300人、65歳以上:700人)	【令和元年度～】 ・従前から65歳以上の方(特に身体障害者)の回答比率が高く、アンケートの傾向に偏りが生じていたため、変更 ・専門分科会委員の意見も踏まえ、手帳を所持していない方(発達障害児)の傾向を把握するため、変更		
難病患者	80人			
知的障害者	1,350人 (18歳～64歳:1,300人、65歳以上:50人)			
精神障害者	1,900人 (18歳～64歳:1,700人、65歳以上:200人)			
障害児	1,170人 (手帳あり:890人、手帳なし:280人)			
①回答者について 【基本項目】	所持手帳	問1	問1	問1
	補問:手帳の等級・判定			
	補問:障害の種類・原因			
	難病・発達障害・高次脳機能障害の対象の有無 (難病の方/発達障害の方) 補問:難病の疾患名、発達障害の種類	問2	問2	問2
	同居人数・同居家族	問3	問3	問3
	年齢(自記入)	問4	問4	問4
	要介護認定の対象の有無と要介護認定の区分(※40歳以上の方のみ) (非該当、要支援1～2、要介護1～5の方) 補問:障害福祉サービスから介護保険サービス移行後の問題点(自記入)	問5	問5	—
	③保健・医療について 【基本施策1】	医療機関の受診の有無	問6	問6
医療機関の受診に関する問題点		問7	問7	問6
現在受けている支援の有無(医療的な支援含む)(※精神障害者のみ)		—	問8	—
④福祉サービス、相談支援について 【基本施策2】	障害福祉サービスの利用の有無 利用しているサービス	問8	問9	問7
	サービスを利用できない状況の有無 補問:サービスを利用できなかった理由(自記入)	問9	問10	問8
	サービスを利用しやすくするために求める支援	問10	問11	問9
	福祉サービスの利用や日常生活の支援などの相談相手(選択肢は家族や親しい友人以外)	問11	問12	問10

分類	設問内容		①	②	③
			身体・知的・難病	精神	障害児
⑤療育・教育について 【基本施策3】 (※障害児のみ)		通学・通所先	—	—	問11
	R1 新規	事業所からの療育内容などに関する説明(情報共有)の有無	—	—	問12
	R1 新規 (★)	関係機関(事業所や学校)との連携の状況	—	—	問13
		保育・教育に求めること	—	—	問14
⑥雇用・就労について 【基本施策4】		就労の有無	問12	問13	—
	R1 新規	補問: 就労期間(定着状況)			—
	R1 新規	補問: 就労などによる平均月収(自記入)			—
	R1 新規	補問: 仕事をするうえでの問題点			—
		働きやすくなる条件や環境整備	問13	問14	問15
		将来への不安(※障害児のみ)	—	—	—
⑦生活環境、移動・交通について 【基本施策5】		居住形態	問14	問15	問16
		希望する居住形態・世帯構成	問15	問16	問17
		在宅生活を送るための必要な支援	問16	問17	問18
		外出回数	問17	問18	問19
		単独外出	問18	問19	問20
		補問: 外出時の同伴者・支援者			
		外出時の問題点	問19	問20	問21
⑧スポーツ・文化、社会参加活動について 【基本施策6】	R1 新規 (★)	生涯学習の実施状況(実施の有無)	問20	問21	問22
	R1 新規	補問: (有の場合)生涯学習の実施の内容			
	R1 新規	補問: (有の場合)生涯学習の実施の場所			
	R1 新規	生涯学習に必要な支援など	問21	問22	問23

分類	設問内容		①	②	③	
			身体・知的・難病	精神	障害児	
⑨安全・安心について 【基本施策7】		近年の災害時に困ったことの有無	問22	問23	問24	
	R1 新規	補問: 困ったことの内容(自記入)				
	R1 新規 (★)	災害時に避難する場所の認知度	問23	問24	問25	
	R1 新規	災害に対する備えの状況と内容	問24	問25	問26	
		消費者トラブル経験の有無	問25	問26	問27	
		補問: 消費者トラブルの内容(自記入)				
⑩情報、啓発・差別の解消について ※現行計画では、「情報」については、基本施策9としている。	施策9	R1 新規	使用している情報通信手段	問26	問27	問28
		R1 新規	市役所からの情報入手方法	問27	問28	問29
		R1 新規 (★)	市役所からの情報の取得状況の満足度(評価)	問28	問29	問30
		R1 新規	補問: 不十分な理由(自記入)			
		R1 新規	コミュニケーション手段	問29	問30	問31
		R1 新規	コミュニケーションに支障を感じるかの有無	問30	問31	問32
	R1 新規	補問: 支障を感じた内容と必要な支援(自記入)				
	R1 新規	尼崎市手話言語条例の認知度	問31	問32	問33	
	施策8		差別・偏見を感じるかの有無	問32	問33	問34
			補問: 差別を感じる場面や場所			
		(★)	障害者差別解消法の認知度	問33	問34	問35
	施策9	R1 新規	障害・難病への行政職員の理解の浸透度	問34	問35	問36
施策8		障害・難病への市民の理解の浸透度	問35	問36	問37	
⑪権利擁護、行政サービス等における配慮について	施策8	R1 新規 (★)	虐待を受けた時や発見した時の通報先の認知度(尼崎市障害者虐待通報・緊急連絡窓口)	問36	問37	問38
		(★)	成年後見制度の認知度	問37	問38	問39

分類	設問内容		①	②	③
			身体・知的・難病	精神	障害児
⑫その他全般について		本市で暮らしていく上で、特に必要と考える支援など (選択は3つまで)	問38	問39	問40
		ご意見・ご要望など(自由回答)	問39	問40	問41
⑬介助者について		主な介助者と本人との関係	問40	問41	問42
		介助者の年齢(自記入)	問41	問42	問43
		将来に対する不安	問42	問43	問44
	R1 新規	介助者の悩みなどの相談相手や場所	問43	問44	問45
	R1 新規	介助者が希望する(本人の)将来の住まい	問44	問45	問46
	R1 新規	補問:希望する住まいで暮らすために必要な支援	問45	問46	問47

(★)の設問については、尼崎市障害者計画(第4期)の施策目標・活動指標として設定しているもの